

# 農林漁業のうごき

京都府 No.188 令和2年

京都の農林水産業の活性化に向けて、  
 新商品・新品種を共同開発!



瓶入り宇治茶ドリンク「京都宇治 玉兎」で特別な時間を御提供!



京都の老舗料亭が認めた味、新品種「京式部」が誕生!

## 内容

特集 1	農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました ～令和2年度京都府農林水産業功労者表彰等授与式～ ..... 2～3
特集 2	農林水産部 新型コロナウイルス感染症対策関連予算の概要 ..... 4～5
特集 3	新商品「京都宇治玉露」 <sup>たまうざぎ</sup> の販売開始 ..... 6
特集 4	京都府オリジナル米新品種の名称が決まりました ..... 6
特集 5	一般財団法人 京都森林経営管理サポートセンターを設立 ..... 7
トピックス	食育シンポジウム～WITH コロナ社会の食を考える～をオンライン開催しました! 京都産和牛や地どり、丹後とり貝を学校給食に提供しています コロナの影響を受けた、京たけのこを高校生援農隊が応援! 「見とき、使ったとき、京都の木!!」を開催しました!～京都府産木材の魅力と府立林業大学校をPR～ 農地中間管理事業を活用したほ場整備が始まりました/参加者多数!「きょうと農業ビジネス商談会2020」 を開催/伝統ある「京都肉牛枝肉共進会」が第200回を迎えました ..... 8～10
シリーズ	農林水産技術センターへようこそ 第12回 農林センター ..... 11
地域の取組	伏見とうがらし産地強化を目指して オンライン「宇治茶ムリエ講座」開催～全国から参加があり、宇治玉露を味わいました～ ジビエ学生起業による山城東部地域の活性化 新たなビジネスモデルで放置竹林解消と竹材確保を目指して!～「竹コミュニティ事業」による試み～ 京のブランド産品「丹波くり」栽培をリードする人材を育成!～「丹波くりマスター養成講座」を開催～ 中丹地域の直売所で「京都中丹いちおし商品フェア」を開催! 安心・安全な地域を実現～府営防災事業 大山堰の完成～ 旬の食材が地元で食べられます!冬期「海の京都旬の食材フェア」開催 ..... 12～15
シリーズ	スマート技術の活用で農林水産業が変わる! ..... 16

特集  
1

# 農林水産業功労者・農山漁村伝承優秀 ～令和2年度京都府農林水

令和2年11月28日(土)、京都市伏見区の京都パルスプラザにおいて、京都府農林水産業功労者表彰等授方々や、農林水産業の経営改善や農山漁村地域の活性化に意欲的に取り組み、地域の担い手として期待されに優れた方々を農・海の「匠」として認定しました。

## ❖ 農林水産業功労者表彰 ❖

(敬称略)

### 経営改善に取り組み、他の模範となり農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

今井 一／京丹後市	上野 清美／京都市	梅原 元／舞鶴市
梅原 眞／京丹波町	江口 武夫／宇治市	岡井 元弘／城陽市
岡本 嘉明／福知山市	齋藤 治喜・なをみ／京都市	塩見 文雄／与謝野町
田中 伸和／京都市	中埜 立雄／向日市	西村 九三男／久御山町
和田 由徳／伊根町	伊東木材株式会社／福知山市	株式会社新田農園／京丹波町

### 新品種開発・新事業開拓に取り組み、農林水産業の振興・発展に顕著な貢献をした方々

上田 正／京丹波町	川崎 芳彦／舞鶴市	川嶋 一生／京田辺市
四方 勝一／綾部市	清水 克次／亀岡市	西村 正雄／大山崎町

### 団体の役員として団体の発展や、農林水産業の振興および発展に顕著な貢献をした方々

稲田 宗夫／宇治市	宇野 齊／南丹市	梅田 武範／京丹後市
大橋 宗治／京都市	白井 政彦／城陽市	谷口 重則／舞鶴市
樋口 義昭／京丹波町	森下 康弘／宇治市	

### 農山漁村における地域資源を活用した活動に取り組み、農山漁村の活性化に顕著な貢献をした方々

谷山 建夫／京丹波町	馬路町農作業受託組合／亀岡市
牧川養殖漁業生産組合／福知山市	与謝地方林業研究会／宮津市

農政課 総務係 TEL : 075-414-4947

#### 受賞者からひとこと

#### 農林水産業功労者表彰 森下 康弘 様

この度は、栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。受賞の感激を胸に、引き続き、京都府茶協同組合の代表として、生産・流通が力を合わせ、宇治茶の持つ様々な魅力の発信や新たな飲み方・商品の提案を通じて普及促進に取り組むとともに、世界に通じる宇治茶ブランドの構築を進め、お茶産業の新たな展開につなげてまいります。



# 技能・若手農林漁業者が表彰・認定されました 産業功労者表彰等授与式～

与式を開催しました。この中で、多年にわたり、府内の農林水産業及び農山漁村の振興と発展に功労のあつたる方々に表彰を行いました。また、同時に、農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産・生活技能

## ❖ 農山漁村伝承優秀技能認定 ❖

農山漁村地域において伝統的に受け継がれてきた生産・生活技能に優れた方々 (敬称略)

### 【農の匠】

加藤 雅美／京田辺市 平林 衛／京丹後市  
松木 照男／京都市 山田 良介／京都市

### 【海の匠】

一坂 昇／舞鶴市

農産課 農業応援伴走支援係 TEL：075-414-4957

## ❖ 若手農林漁業者表彰 ❖

(敬称略)

農林水産業の経営改善等に取り組み、地域の担い手として期待される方々

吾郷 修平／京都市	池邊 恒雄／京丹後市	石倉 健男／伊根町
今井 真也／京丹後市	井本 剛史・幸／京都市	太田 桂史／与謝野町
角山 大輔／木津川市	久保 世智／福知山市	倉田 浩平・麻美／城陽市
小山 貴裕・政代／宇治市	齋藤 圭祐／京都市	塩見 隼規／福知山市
清水 洋人／京都市	田中 洋平／和束町	戸田 信市／久御山町
中嶋 直己／京都市	成毛 一生／与謝野町	西川 泰徳／京田辺市
藤原 典道／京丹後市	松阪 泰佑・敬子／宇治市	溝口 倫正／亀岡市
峰地 幹介／綾部市	村上 和也／京丹波町	八隅 真人・久子／京都市
渡邊 荘太郎／伊根町		

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4912

### 受賞者からひとこと

#### 若手農林漁業者表彰 石倉 健男 様

この度は、名誉ある賞をいただきまして誠にありがとうございます。漁業は自然相手の仕事であるため思いどおりにいかないことの連続ですが、共に助け合い支え合える先輩や仲間がいることは何物にも代えがたいものと実感しています。私もこれまで培ってきた経験を活かして地域の中心的立場から次代の後継者育成や府漁業の発展に貢献していきたいと思っております。





# 農林水産部 新型コロナウイルス感染症対策関連予算の概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外食需要の落ち込みや、インバウンド需要の激減等による、売上の減少などの影響に対して、農林水産業の緊急支援を展開し、飲食需要等の喚起や京都府産農林水産物の需要回復・生産基盤の維持を図るため、令和元年度2月補正予算から5回、合計22億14百万円の補正予算を計上しました。

## 1. 令和元年度2月補正予算（閉会日（3／19）提案）

**500万円**

### 〈全般〉

- 新型コロナウイルス感染症経済対策費（中小企業等新型コロナウイルス対策緊急支援事業）……………【500万円】
  - ・新型コロナウイルス感染症により、出荷・販売等の経済活動に大きな影響を受けた農林水産業者等について、普及指導員等による伴走支援を行い、早急な出荷・販売の回復等につながる経営改善の取組を支援

## 2. 令和2年度4月補正予算

**4億3,100万円**

### 〈全般〉

- 新型コロナウイルス感染症経済対策費（中小企業等新型コロナウイルス対策緊急支援事業）……………【1億円】  
（2月補正の増額）……………【1億円】

### 〈京もの農林水産物〉

- 「食の京都」京もの需要拡大緊急対策事業費……………【3,500万円】
  - ・旬の京野菜提供店等が行う京野菜をはじめとした京のブランド産品等を使用した中食サービス（総菜加工・販売、宅配、テイクアウト等）の新規展開や、既存事業の拡大に係る取組等を支援

### 〈花き〉

- 府内産花き需要拡大緊急対策事業費……………【500万円】
  - ・府内の幼保育園児及び小学校低学年の家庭を対象に、府内産花きを活用した家庭学習を行うための教材（府内産切り花等）を提供する取組を支援
  - ・花の需要が特別に多くなる母の日などの時期に向けた販売促進活動を支援

### 〈宇治茶〉

- 宇治茶需要拡大緊急対策事業費……………【3,500万円】
  - ・商品開発力のある府内の食品関連企業及び茶商工業者を対象に、府内の加工用てん茶を活用し、創意工夫のある宇治抹茶の新商品開発や販路開拓を支援
  - ・宇治茶の新たなマーケット拡大の起爆剤として期待される新商品「京都宇治 玉露 玉兔」の販売プロモーションを強化

### 〈畜産業〉

- 京都産和牛給食提供推進事業費……………【1億6,600万円】
  - ・給食を実施する小中学校等に対して、通常では提供されていない京都産和牛を給食の食材として提供
- 京都産和牛肥育経営緊急対策事業費……………【2,300万円】
  - ・京都産和牛の再生産確保のため、肉用牛肥育経営安定特別対策事業等の国制度による補填後の生産者の赤字分について、府内の標準的な収支差額まで定額支援
- 養豚経営緊急対策事業費……………【600万円】
  - ・府内養豚農家の経営を維持するため、出荷抑制により枝肉の価値が下落した豚肉に対して、販売額が生産額を下回った場合にその赤字分を支援

### 〈水産物〉

- 丹後とり貝需要拡大緊急対策事業費……………【6,100万円】
  - ・丹後とり貝の本物の味や著名シェフ等がつくる新たな調理方法などの情報を発信
  - ・有名料理店等による冷凍の丹後とり貝のレシピ開発及び新規販路開拓に向けた取組を支援
  - ・給食を実施する丹後・中丹地域の小中学校に対して、通常では提供されていない丹後とり貝を給食の食材として提供

**3. 令和2年度5月補正予算****1,000万円**

- 新型コロナウイルス感染症危機克服対策費(※商工労働観光部と共管) ……………【5,000万円】  
 (うち農林水産部所管分1,000万円)
  - ・「新型コロナウイルス感染症危機克服会議(仮称)」を設置し、食関連産業分野におけるWITHコロナ社会を乗り切る戦略の検討とPOSTコロナ社会における京都産業が果たす役割を議論

**4. 令和2年度6月補正予算****15億6,000万円**

- スマート農業実践教育事業費(※教育委員会と共管) ……………【1億円】  
 (うち農林水産部所管分2,000万円)
  - ・府立農業大学校や府立農業系高校において省力化に資するスマート農業機械の導入による実践的な研修を実施

**〈食関連業界支援〉**

- 京もの農林水産物生産・流通促進対策事業費 ……………【10億円】
  - ・府内の食品加工・製造販売業者が取り組む、「内食・家食」需要に向けた府内農林水産物を原材料とする新たな商品開発や販路開拓等の取組を支援
  - ・京都産和牛等を取り扱う卸売事業者団体等が作成した販売促進計画をもとに行う販売促進キャンペーン及びその計画に基づき卸売事業者等が実施する販売促進活動にかかる経費を支援
  - ・農産物の生産継続と産地の維持を図るために、農業者が組織する団体が行う品目転換や農産物の再生産に向けた取組を支援

**〈食の京都関連〉**

- 「食の京都」地域拠点新型コロナウイルス感染症対策費 ……………【1,000万円】
  - ・地域の「食」の拠点となる農産物直売所や道の駅等について、新型コロナウイルス感染症を防止するために必要な設備整備を支援

**〈畜産業〉**

- 京都産和牛等給食提供推進事業費(地鶏追加・4月補正の期間延長) ……………【4億700万円】
  - ・給食を実施する小中学校等に対して、通常では提供されていない京都産和牛及び地鶏を給食の食材として提供
- 京都産和牛肥育経営緊急対策事業費(4月補正の期間延長) ……………【3,000万円】
- 養豚経営緊急対策事業費(4月補正の期間延長) ……………【800万円】

**〈水産物〉**

- 京都産水産物需要拡大対策事業費 ……………【8,500万円】
  - ・給食を実施する中丹・丹後地域の小中学校に対して、通常では提供されていない高級水産物を給食の食材として提供
  - ・京都産水産物の今後の需要拡大につなげるため、新規加工品開発に必要な原材料提供等による販路拡大の取組を支援

**5. 令和2年度9月補正予算****2億800万円****〈日本酒・酒米〉**

- 「京の酒」海外需要開拓緊急対策事業費 ……………【2,000万円】
  - ・今後の酒米の作付面積を確保し、酒米産地を維持するため、日本酒の需要が高まっている中国や、日本酒人気が高まっているフランス等のヨーロッパにおける販売促進を支援

**〈畜産業〉**

- 京都産和牛肥育経営緊急対策事業費(4月・6月補正の期間延長) ……………【2,300万円】

**〈林業〉**

- 府内産木材利用拡大緊急対策事業費 ……………【1億6,500万円】
  - ・林業事業体の業務量確保による雇用維持のため、府有林の間伐を前倒して実施
  - ・市場における原木の滞留を解消するとともに、販路拡大を図るため、原木市場等が実施する府外工場等への新たな販路開拓の取組を支援
  - ・木材加工業者とのジョイント(連携)を要件に、工務店等による府内産木材の購入経費を支援
  - ・府内産木材の需要拡大に向けた協議会を設置し、普及促進の取組を実施

**総額 22億1,400万円**

農政課 経理係 TEL: 075-414-4948

特集  
3

# 新商品「京都宇治玉露」 販売開始

たまうさぎ  
「玉兎」の

9月1日から、府内のホテル・料理店等で販売開始された瓶入り宇治茶ドリンク「玉兎」は、「京都府宇治茶普及促進条例」を踏まえ、京都の料理界からも要望の高かった宇治茶の有料メニュー化を目指して開発されました。府と茶業関係団体が足掛け3年かけて共同開発した「玉兎」は、覆い下茶園で栽培された玉露を原料とし、口に含んだ時に広がる独特の甘味と旨味により、食事と合わせて楽しむことができる、今までにないノンアルコール飲料として、現在、府内60施設で提供されています（10月28日現在。取扱店は順次拡大中）。

コロナ禍でのスタートとなりましたが、新商品「玉兎」を起爆剤として、宇治茶の新たな市場開拓による普及促進と茶業振興を図っていきます。



「玉兎」専用サイト



農産課 宇治茶・特産振興係 TEL：075-414-4944

特集  
4

# 京都府オリジナル米新品種の名称が 決まりました

京都府と国の研究機関「農研機構」が共同開発したお米の名称が「京式部<sup>きょうしきぶ</sup>」に決まり、10月28日に知事から発表されました。

「京式部」は、近年の地球温暖化による米の品質低下や、全国各地から登場したブランド米による産地間競争の激化に対応するため、コシヒカリより「耐暑性」が強く、「食味」が良い等の特徴があります。

特に、食味は、京料理店の店主や米穀店のお米マイスターの方々から、「香り高い上品な味わいで、食感はほどよい粘りで大きい粒感、外観は白くつやがある」と高く評価されています。

本格販売となる来年は、デビューイベントや百貨店等での販売を予定していますので、ご期待ください。



知事による名称発表の様子(令和2年10月28日)

農産課 京の米・豆・保険係 TEL：075-414-4953

特集  
5

# 一般財団法人 京都森林経営管理 サポートセンターを設立

市町村における森林経営管理制度（※）の取組に対し、技術的な助言や支援を行う組織として、（一財）京都森林経営管理サポートセンターを府、市長会、町村会の3者で、令和2年8月25日に設立しました。

（※森林経営管理法（平成31年4月施行）に基づき、適切に経営管理が行われていない森林について、市町村が森林所有者の委託を受け、経営管理することや林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林の管理の適正化を推進）

当サポートセンターが市町村を力強くバックアップし、森林の経営管理の集積・集約化に係る取組を促進させ、林業の持続的発展と森林の持つ多面的機能の発揮に貢献できるよう取組を進めてまいります。

## 設立の背景

- 市町村が取組を進める上で、林業の専門的な知識や技術が必要となるが、ほとんどの市町村には、林業専門の技術職員が不在
- 市長会、町村会は、府に対して市町村の取組を支援するサポートセンターの設置を強く要望

## サポートセンターの概要

### ■業務内容

#### 1 市町村技術支援相談

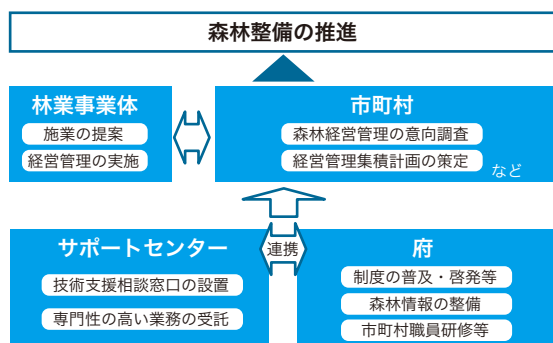
市町村技術支援相談窓口を設置し、森林整備の企画・立案のコーディネートなど、市町村の取組進捗に応じたきめ細やかな支援を実施

#### 2 市町村業務の受託

林業に関する専門知識や技術が必要な業務を市町村から受託

- ・ 森林の状況調査や集約化する団地の提案
- ・ 森林境界の明確化作業の支援
- ・ 林業経営可否の判断及び経営管理内容の提案、採算性の試算 など

〈推進のイメージ〉



森林所有者への説明

### ■所在地等

- ・ 京都事務所 京都市下京区西七条掛越町65（京都獣医畜産会館内） TEL 075-925-8411
- ・ 京丹波事務所 京丹波町本庄土屋1（京都府森林技術センター内） TEL 090-4275-8411

森の保全推進課 企画・計画係 TEL：075-414-5016

# トピックス

## 食育シンポジウム～WITHコロナ社会の食を考える～を オンライン開催しました！

人づくりの裾野拡大

令和2年8月1日に、今年で9回目となる「食育シンポジウム」を新型コロナウイルス感染症対策の観点から初めてwebライブ配信形式で開催しました。

京都大学の山極先生による基調講演に続き、「京都」「食」にゆかりのパネリストを迎え、WITHコロナ社会の食について意見交換を行いました。

京都府食の府民大学ではダイジェスト版、全編版の見逃し配信を実施しています。是非ご覧ください。

# 食育シンポジウム



パネルディスカッションの様子（令和2年8月）



京都府食の府民大学ページ

農政課 食の安全・食育係 TEL：075-414-5654

## 京都産和牛や地どり、丹後とり貝を学校給食に提供しています

国内外への展開の加速

新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンドや外食需要の激減により、京都産和牛や丹後とり貝等の高級食材は消費が低迷しており、その影響は現在も続いています。

これを受けて、京都府では京都産和牛等の需要喚起として、府内（丹後とり貝については丹後・中丹地域のみ）の小・中学校、特別支援学校等に対し、京都産和牛等を学校給食に提供しています。今年度中に和牛等は539校（児童・生徒数約16.6万人）、丹後とり貝は55校（児童・生徒数約1.2万人）への提供を予定しています。



給食風景



京都産和牛ヒレカツ（学校給食提供例）



とり貝ごはん

畜産課 畜産振興係／水産課 漁政企画係 TEL：075-414-4983/4992



## コロナの影響を受けた、京たけのこを高校生援農隊が応援！

人づくりの裾野拡大

京都府では農業・農村の保全や、担い手としてがんばる農業者の支援を目的に、農業に興味があり、困っている農家の力になりたい一般のボランティアの方をマッチングする「京都援農隊」の取組を行っています。

今回、新型コロナウイルス感染症で売上げに影響を受けた「京たけのこ」において、京都市立紫野高校の生徒が新たな援農隊として作業を行いました。

また、こうした高校生をはじめとする多様な援農隊を増やすことを目的に、魅力や活動内容を紹介する動画が完成しましたので、是非ご覧ください。



高校生(9名)が作業する様子  
(京都市西京区大枝塚原町)(令和2年11月)



動画サイト

農産課 京野菜振興係 TEL：075-414-4966

## 「見とき、使ったとき、京都の木!!」を開催しました！ ～京都府産木材の魅力と府立林業大学校をPR～

「林業の再生」と「防災・減災」

令和2年8月22日(土)、8月23日(日)イオンモール久御山において、京都府産木材を使用した木造住宅・木製家具のアイデアを募集するwoodyコンテストの入賞作品の展示や、府立林業大学校の学生募集活動を行いました。

2日間で約400人のご来場があり、「木はいいな、木材を使いたい」「子供に林業大学校を薦めたい」などのお声をいただきました。

今後も府民のみなさんに森林や木材利用の大切さを発信し、京都府産木材の利用拡大や林業の担い手の確保を図るための活動を行っていきます。



熱心にご鑑賞される来場者の皆さん

林業振興課 木材産業係 TEL：075-414-5011

## 農地中間管理事業を活用したほ場整備が始まりました

農山漁村の絆を守る

あせくなが  
朝来中地区（舞鶴市）では、農業者の高齢化が進む中、担い手への農地集積を図るとともに作業性の高い農地を確保するため、「府営農地中間管理機構関連農地整備事業」による、ほ場整備に取り組んでいます。整備された農地の9割以上は農地中間管理機構を通じて担い手が借り受け、「京の輝き」（酒造用原料米）の栽培など、収益性の高い農業経営を目指します。



作業性の高い農地に整備（イメージ）

農村振興課 計画基盤係 TEL：075-414-5048

## 参加者多数！「きょうと農業ビジネス商談会2020」を開催

スマート&コラボ

府内の農林漁業者等と、府内産農産物等や食品を取り扱う販売業者とのマッチングを図るため、「きょうと農業ビジネス商談会2020」を開催しました。

WITHコロナ社会において、安心・安全を追求した農林水産物など家庭内消費向けに訴求力のある商材を扱う売り手・買い手の参加を呼びかけたところ、当日は前年を上回る売り手57者、買い手52者が集まり、活発な商談が行われました。



活発な商談が行われた「きょうと農業ビジネス商談会2020」（令和2年10月）

流通・ブランド戦略課 アグリビジネス戦略係 TEL：075-414-4964

## 伝統ある「京都肉牛枝肉共進会」が第200回を迎えました

国内外への展開加速

令和2年10月1日に第200回京都肉牛枝肉共進会が開催され、南丹市の（有）京都丹波牧場が記念すべき知事賞を受賞されました。

本共進会は昭和61年（1986年）から34年にわたって開催されており、京都肉の品質を競い合い、生産技術を高めてきた伝統ある共進会です。コロナ禍の影響が残る中ではありますが、京都産和牛のブランド力強化や生産振興にさらに力を入れてまいります。



山下副知事から知事賞贈呈（令和2年10月）

畜産課 畜産振興係 TEL：075-414-4983

## シリーズ 農林水産技術センターへようこそ

### 京都府の研究機関の研究内容や成果をご紹介します

#### 第12回 農林センター

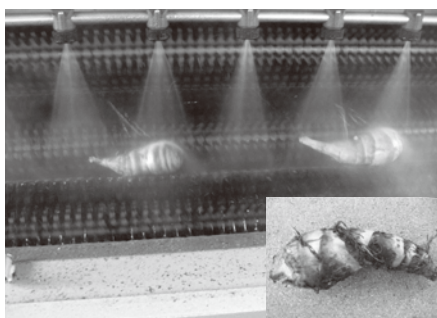
令和2年に取り組んでいる研究を皆様にご紹介します。

### 研究1：エビイモ栽培の機械化による産地拡大を目指して

エビイモは、肉質が緻密でねっとりとした独特の食感と豊かな旨味があり、人気の高い京野菜です。しかし、その栽培管理は手作業に頼る部分が多く、特に芋の形をエビに似せるための土寄せ作業は非常に重労働です。また、収穫や収穫したイモの土を落とす作業も手間がかかります。

そこで、当センターでは作業の省力化試験を行い、土を落とす作業については機械により省力できることを示しました。

今後、土寄せ作業などについても、品質や収量を落とさずに機械化技術を確認し、エビイモの産地拡大を目指します。



←機械による土落とし  
(回転ブラシと水の噴霧  
で土を落とす)  
洗浄後のエビイモ (右下)



土寄せ作業→  
(より省力的な機械化技術を  
今後開発予定)

農林水産技術センター 農林センター 園芸部 TEL：0771-22-6492

### 研究2：LPWAを利用した集落における獣害対策の迅速化と低コスト化

野生動物の防護柵は令和元年度まで3,371kmに整備され、農作物被害額は減少しています。この状態を維持するには防護柵の保守管理（防護柵を見て回り、補修する作業）を続けていく必要がありますが、見回りにくい森林内に設置された防護柵も多く、集落の負担となっています。

当センターでは、イノシシやシカの侵入箇所を特定し、迅速な補修作業につなげるため、省電力・省コストの通信技術(LPWA=Low Power Wide Area)を使った侵入感知装置を企業と共同研究し実用化を目指しています。



イノシシが防護柵から侵入するときに発生する  
柵の揺れを感知します



防護柵に取り付けた  
無線振動センサー

農林水産技術センター 農林センター 環境部 TEL：0771-22-6494

# 地域の取組

## 京都乙訓

### 伏見とうがらし産地強化を目指して

京都市右京区京北地区は、京のブランド産品「伏見とうがらし」の産地です。

普及センターは、JA京都京北支店と連携して同支店の青と部会の活動を支援しています。JAと普及センターによる定期的な巡回や技術情報の発行、栽培展示ほの設置、モデルほ場における互見会の開催等により、高品質なとうがらしの安定生産ができる産地になってきました。

また、この3年間で新規生産者が6名増え、部会員同士のSNSを利用した情報交換の輪ができるなど部会活動が活発化し、今後が期待されます。



モデルほ場での互見会（令和元年9月）

京都乙訓農業改良普及センター TEL：075-315-2906

## 山城

### オンライン「宇治茶ムリエ講座」開催 ～全国から参加があり、宇治玉露を味わいました～

山城広域振興局では、「お茶する生活」の普及・定着に向けて、宇治茶の歴史や生産に係る座学と美味しい淹れ方が学べる講座を平成27年度から定期開催しています。

今年度は、WITHコロナ社会に対応し、事前に参加者にお届けした宇治玉露を使い、おうちでゆっくり本格的な宇治茶の美味しい淹れ方や歴史が学べるよう、9月から12月にかけて17回のオンライン講座を開催しました。オンラインでの開催により、京都府内だけでなく、海外や首都圏など府外からの参加が約4割を占めるなど、宇治茶の普及促進につなげることができました。

1月以降も開催しますので、是非、受講してみてください。



【オンライン「宇治茶ムリエ講座」の詳細ページ】  
[http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/ocha/news/online\\_ujichamlier2020.html](http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/ocha/news/online_ujichamlier2020.html)



オンライン「宇治茶ムリエ講座」日本茶インストラクター協会京都府支部による講義（令和2年10月2日）

山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0774-21-2392

## 山城

## ジビエ学生起業による山城東部地域の活性化

令和2年10月29日、笠置町で大学生が起業した企業（Re-Social）が営業販売を始めました。笠置町とその周辺ではシカが有害鳥獣として駆除されていますが、捕獲された個体はすべて埋設されてきました。

同社では資源の循環を守るため、地域の有害鳥獣捕獲班と連携し、これをジビエ（地域産食材）として活用し、少しでもたくさんの肉がとれるようハラル認証を取得しています。

獣害対策としてのシカの個体数の減少と新たな農業ビジネスの創出にもつながり、地域を挙げて彼らの取組を応援しています。



捕獲された鹿は給餌により安定した肉質に整えられます（令和2年10月）

山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0774-21-3212

## 南丹

新たなビジネスモデルで放置竹林解消と竹材確保を目指して！  
～「竹コミュニティ事業」による試み～

近年、生活様式の変化や竹伐採事業者の廃業などにより、放置竹林が増加し、各地で問題となっています。

一方、日本のモダンデザインの内外装や工芸品の需要が高まり、原料の竹材（真竹）が不足しています。

南丹広域振興局では、京都で竹製品を手掛ける「株式会社 竹定商店」、森林組合、京都商工会議所、南丹市と連携し、放置竹林の整備と竹材の安定供給を両立する、新たなビジネスモデルを構築することで、この問題の解決を目指す「竹コミュニティ事業」に取り組んでおり、亀岡市・南丹市内で竹林整備・竹材搬出を行っています。



南丹市園部町での竹林整備の様子（令和元年12月）

南丹広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL：0771-22-1017

# 地域の取組

## 南丹 中丹

### 京のブランド産品「丹波くり」栽培をリードする人材を育成！ ～「丹波くりマイスター養成講座」を開催～

南丹・中丹両広域振興局では、丹波くり栽培の更なる拡大を図るため、各地域に中核的生産者を育成する「丹波くりマイスター養成講座」を本年度から開催しています。

本講座は、府内で唯一、丹波くり栽培で「地域特産物マイスター」の認定を受けた山内善継氏（京丹波町）に弟子入りし、年間を通じた各作業に従事しながら指導を受けることで、「栽培技術」「指導力」「発信力」を習得するものです。面接で選考された南丹市・京丹波町・福知山市の6名が受講しています。



育苗方法について学ぶ受講生（令和2年8月）

南丹広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL：0771-22-1017  
中丹広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL：0773-62-2586

## 中丹

### 中丹地域の直売所で 「京都中丹いちおし商品フェア」を開催！

中丹広域振興局では、地域の魅力ある加工食品等を「京都中丹いちおし商品」として、平成30年度から令和2年度にかけて、42点の商品を選定しました（令和2年10月末現在）。

農商工連携・推進課及び中丹東・西農業改良普及センターでは、管内の5つの直売所で「京都中丹いちおし商品フェア」として、令和2年8月から翌年3月までリレー形式で、商品のPR及び販売促進の特設コーナーを設けています。

コロナ禍で地元のイベント等が自粛される中ではありますが、販売機会の拡大による売上の向上を目指した取り組みを進めています。



「あやべ温泉」でのフェア特設コーナー  
（令和2年10月）

中丹広域振興局 農林商工部 中丹東農業改良普及センター TEL：0773-42-2255

## 丹後

## 安心・安全な地域を実現 ～府営防災事業 大山堰の完成～

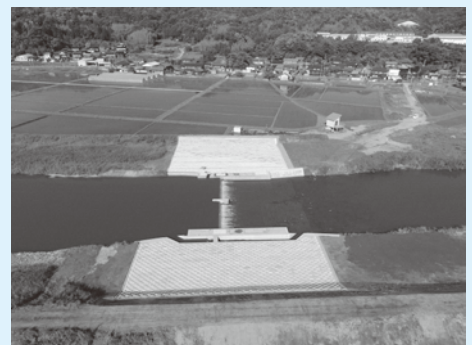
大山堰は、京丹後市丹後町にあり、竹野川をせき上げし、かんがい期に取水するための農業用施設です。

以前は、人力でせき板を設置するため、多大な労力が必要であり、また洪水時には倒すことが困難で、防災上の課題となっていました。そのため、平成24年度から府営防災事業により改修を進め、今年度の電気設備等の工事をもって完成しました。

現在では、操作室のボタンを押すことにより、鋼製ゲートを起立させられ、また洪水時には自動で倒れるので、受益農家にも地域にも、安心安全な施設として生まれ変わりました。



せき上げた鋼製ゲート（令和元年5月）



大山堰の全景ドローンから空撮（令和元年5月）

丹後広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 TEL：0772-62-4424

## 丹後

## 旬の食材が地元で食べられます！ 冬期「海の京都旬の食材フェア」開催

海の京都エリアでは、一年を通して四季折々の食材を地元で楽しんでいただく「海の京都旬の食材フェア」を開催しています。

冬期は、ブリしゃぶが楽しめる脂の乗った「寒ブリ」や、肉厚で濃厚な「カキ」、身はやわらかで淡泊な味わいが魅力の「サワラ」、柔らかく、サラダでも美味しくいただける「京みず菜」等の食材を使い、工夫を凝らしたメニューが「海の京都旬の食材提供店」で味わえます。

冬期「海の京都旬の食材フェア」

開催期間：令和2年12月1日～令和3年2月28日



丹後広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL：0772-62-4304

シリーズ スマート技術の活用で農林水産業が変わる！

「京都スマート農業祭2020」が開催されました

京都府では、農林水産業の経営向上や集落機能の維持を目的に、ICTやロボットなどを活用したスマート農林水産業技術の普及に取り組んでいます。

このたび、令和2年11月13日(金)、14日(土)に京都府農林水産技術センター農林センターにおいて「京都スマート農業祭2020」を開催しました。

2日間で約2,500名の来場者があり、ドローンによる農薬の模擬散布やリモコン式草刈り機などの実演や最新のスマート技術の展示に加え、収穫ロボットの開発事例の講演会などを実施し、農林水産業関係の皆様、これからの農林水産業を変える最先端技術を身近に感じて頂きました。京都府では、スマート技術の情報発信を行う一方で、民間企業や大学、国などと連携しながら、京都府に適したスマート技術の開発、普及に取り組んでいくこととしています。



入り口では感染症対策実施



収穫もロボットにという近い未来（講演）

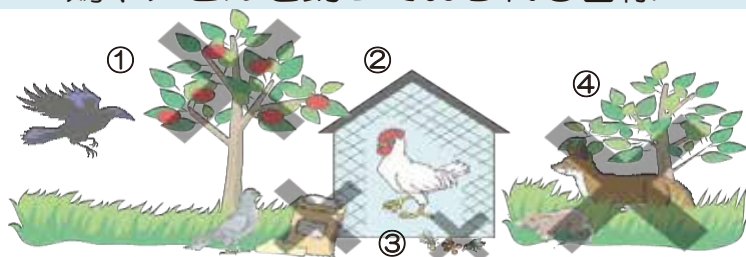


ドローンの実演

流通・ブランド戦略課 研究推進係 TEL：075-414-4968

鳥インフルエンザ対策の徹底を！

～鶏やアヒルを飼っておられる皆様へ～



- ① 野鳥の食物源となる果樹などはなるべく近くに植えない。
- ② 鳥小屋の防鳥ネットは2cm角以下にし、適時補修する。
- ③ 飲み水は水道水を使用し、野鳥のエサ場とならないよう飼料の管理をきちんとする。
- ④ 鶏舎周囲は草刈りや舗装等をし、野鳥や野生動物が常在する環境を作らない。

お問い合わせは、最寄りの家畜保健衛生所へ

発行／令和2年12月

編集／〒602-8570

京都市上京区下立売通新町西入

京都府農林水産部農政課

TEL：075-414-4946

E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。

歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか

公式ホームページ

<http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>